

ケアの人間学

合同研究会要旨集

No. 8 2011年3月

目次

まえがき	堂園 俊彦	2
医療界にまんえんする QOL の誤解を解く	中島 孝	4
精神科入院患者の「病いの経験」の語り	木村 千都子	8
——急性期病棟におけるフィールドワークを通じて——		
在宅ケアにおける心理的援助の試み	木村 明紗乃	10
欧米の介護者支援と日本の研究動向論	三富 紀敬	12
終末期を考える——リビング・ウィル——	浜渦 辰二	14
生老病死と向き合うために——リビング・ウィル——	藤本 啓子	16
「ケアの人間学」合同研究会の記録		18
「ケアの人間学」合同研究会規約		19

まえがき

堂園 俊彦

『ケアの人間学——合同研究会要旨集——』No.8をお届けします。幹事の怠慢から、必ずしも十分な開催数ではありませんでしたが、それぞれの回では活発に議論が交わされました。

昨年3月には、昨年度の要旨集でもご報告をした大学院教育改革プログラム「対人援助職の倫理的・法的対応力の育成」（代表：松田純）との共催という形で、公開講演会「医療界にまんえんする、QOLと緩和ケアの誤解を解く」を開催しました。演者の中島孝さんは、患者自身の報告に基づくQOL評価であるSEIQoLを日本で紹介・実践され、さらなる改善に取り組まれている第一人者です。今回のご講演では、広く医療界で用いられているQOL評価方法の問題点を明らかにしながら、SEIQoLの重要性をお話いただきました。

6月の第38回研究会では、静岡大学大学院人文科学研究科を修了された木村千都子さんと、在学中である木村明紗乃さんにご発表いただきました。木村千都子さんのご発表は、修士論文としてまとめられたものを元としています。私も副査として修士論文に目を通しましたが、医療モデルの中で、抱えている悩みを表に出せず苦しんでいる人（この要旨集にも登場するEさんのように）をはじめ、私たちのイメージとは異なる患者の姿が印象的でした。木村明紗乃さんからは、この研究会を通じて関わることになった傾聴ボランティアに関する報告がなされました。自身の体験やアンケート調査を通じて明らかとなった傾聴へのニーズ、そしてその意義や課題などを語ってくれました。在宅医療における傾聴活動は「これから」の領域であるだけに、貴重な発表となりました。

第39回研究会において三富紀敬さんにお話いただくきっかけとなったのは、「ケアラー連盟の発起人である三富先生のお話を伺う機会を作ってもらえないだろうか」という研究会会員の方からのメールでした。介護者も視野に入れたケアのあり方を提起しているこの活動は、本研究会とも密接に結びつきますので、先生をお願いしてお話いただくことになりました。当日は、海外も含めた膨大な先行研究に裏打ちされた三富さんの研究成果を、ご自身の体験も交えながらお話いただきました。

今年に入ってはじめての、そして第40回という区切りになる研究会は、この研究会の生みの親である浜渦辰二さんと、浜渦さんが大阪大学へ移られてから様々な形で共に活動している藤本啓子さん（患者のウェル・リビングを考える会）に提題いただきました。浜渦さんからは、従来のリビング・ウィルの批判的検討を通じて、終末期における対話の重要性が指摘され、藤本さんからは、対話のプロセスを大事にすることのできる「ファミリー・リビングウィル」の試みが紹介されました。当日は、近年議論になっている胃ろうの問題や、終末期と法の問題など、活発な議論が交わされました。

このように見てくると、本年の研究会がさまざまな「つながり」によって支えられていることを実感します。この場をお借りして、あらためて会を支えてくださっている皆様に御礼申し上げます。今年も引き続き着実に研究会を開催していくつもりです。そして同時

に、新たなつながりを模索したいとも考えています。その一つのきっかけとなってくれるはずと期待しているのが、この2月に静岡市より認可された特定非営利法人ヒューマン・ケア支援機構です。このNPOの設立メンバーは、理事長の松田純さんをはじめ、多くがこの研究会の会員です。この法人では、医療・介護従事者を対象にした教育研修やボランティアの育成・派遣など、より実践的な活動が中心を占めることになります。しかしこうした活動を行う上では、研究会がこれまでに育ててきた知恵やつながりが大きな役割を果たすはずですし、本研究会にとっても、NPO活動と連携することにより、さらに多くの人にこの研究会の活動を知ってもらえると期待できます。この点につきまして、会員のみなさんからご意見をいただければ幸いです。

最後に、会費のお願いです。本研究会は、本誌の刊行などの活動を継続していくために、会員・会費制を導入しております。そのため、本誌および葉書による研究会案内につきましては、会員になられた方にのみ限定しております。本研究会が息の長い活動を続けられますよう、お力添えいただければ幸いです。年会費は一般会員 2,000 円、賛助会員 5,000 円です。（郵便振替口座：00880-1-186850 「ケアの人間学」合同研究会）

（「ケアの人間学」合同研究会幹事）